

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 エージーピー

上場取引所 東

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小澤 秀之

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,778	3.6	657	38.7	661	51.2	366	121.9
25年3月期第3四半期	7,511	1.1	474	60.4	437	70.1	165	84.7

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 374百万円 (137.7%) 25年3月期第3四半期 157百万円 (83.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.30	—
25年3月期第3四半期	11.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,440	6,241	54.6
25年3月期	11,623	5,992	51.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 6,241百万円 25年3月期 5,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,246	4.8	1,026	30.2	1,023	33.4	524	28.3	37.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、上記のとおり修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日開示いたしました「平成26年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	13,950,000 株	25年3月期	13,950,000 株
26年3月期3Q	1,857 株	25年3月期	1,857 株
26年3月期3Q	13,948,143 株	25年3月期3Q	13,948,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビューを手続実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善するなど、緩やかに回復しています。先行きについては、各種の政策効果が下支えするなかで、景気の回復基調が続くことが期待されていますが、海外景気の下振れリスクや消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が懸念されています。

航空業界は、円安や東南アジア諸国に対する査証発給要件の緩和措置等により訪日旅客が増加し堅調に推移するなか、グローバルアライアンスの強化や、本邦 LCC のシェア拡大により、競争環境が激化しています。

一方、本年 3 月の羽田空港における国際線発着枠拡大をはじめとした首都圏空港の発着枠 75 万回へ向けた空港整備計画が進むなかで、当社におきましても、羽田空港国際線地区の新規設備投資を含め、収益拡大に向け着実に対応を図っています。

このような状況下における当社業績は、売上高につきましては、動力事業、整備事業、付帯事業それぞれ堅調に推移し、3 事業合計で 77 億 78 百万円と前年同期比 2 億 66 百万円 (3.6%) の増収となりました。営業費用につきましては、整備事業、付帯事業において原材料費等が増加したものの、動力事業における減価償却費、人件費の減少等により、71 億 20 百万円と前年同期比 83 百万円 (1.2%) の増加にとどまりました。

以上により、営業利益は 6 億 57 百万円と前年同期比 1 億 83 百万円 (38.7%) の増益、経常利益は、有価証券の売却益や有利子負債の圧縮による支払利息の減少等により、6 億 61 百万円と前年同期比 2 億 23 百万円 (51.2%) の増益となりました。

また、前年同期に鹿児島、熊本、長崎の各空港出張所閉鎖に伴う事業撤退損 1 億 28 百万円を計上した特別損失が大きく減少したこともあり、当四半期純利益については、3 億 66 百万円と前年同期比 2 億 1 百万円 (121.9%) の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

国内線において、経費節減への取り組みを進めている大手航空会社向けの販売が減少したものの、本邦 LCC 向けの販売が増加したこと等により、売上高は 38 億 40 百万円と前年同期比 35 百万円 (0.9%) の増収となりました。

セグメント利益は、関西空港における減価償却費が大きく減少したこと、および人件費の減少等により、5 億 81 百万円と前年同期比 1 億 42 百万円 (32.5%) の増益となりました。

② 整備事業

顧客の経費節減施策は継続しているものの、成田および羽田両空港における空港特殊機械設備の更新・修繕作業の増加等により、売上高は 29 億 26 百万円と前年同期比 67 百万円 (2.4%) の増収となりました。

セグメント利益は、3 億 28 百万円と前年同期比 12 百万円 (4.0%) の増益となりました。

③ 付帯事業

大口案件の受注もあり、フードカート販売が好調に推移したこと等により、売上高は 10 億 11 百万円と前年同期比 1 億 64 百万円 (19.4%) の増収となりました。

セグメント利益は、2 億 15 百万円と前年同期比 36 百万円 (20.7%) の増益となりました。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	26年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)	26年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)
動力事業	3,840	3,804	100.9	581	438	132.5
整備事業	2,926	2,859	102.4	328	315	104.0
付帯事業	1,011	847	119.4	215	178	120.7
合計	7,778	7,511	103.6	1,124	932	120.6
全社費用*				467	458	101.9
営業利益				657	474	138.7

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比1億83百万円（1.6%）減少の114億40百万円となりました。

流動資産は、前期末比2億73百万円（4.8%）減少の53億92百万円となりました。主な要因は、流動性の高い有価証券が4億円、商品及び製品・仕掛品等の棚卸資産が4億65百万円増加する一方、現金及び預金が6億83百万円、受取手形及び売掛金が4億51百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前期末比90百万円（1.5%）増加の60億48百万円となりました。これは、羽田空港等への設備投資6億83百万円に対して減価償却費が5億57百万円であったこと等によります。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比4億32百万円（7.7%）減少の51億99百万円となりました。主な要因は、設備投資による未払金の増加が1億76百万円あったものの、営業未払金の減少77百万円、未払法人税等の減少86百万円、その他の流動負債の減少70百万円に加えて、流動負債・固定負債を合算した長期借入金を3億66百万円返済したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比2億48百万円（4.2%）増加の62億41百万円となりました。これは、当四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が2億41百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、整備事業における空港特殊機械設備の更新・修繕作業の受注増と付帯事業における消費税率引上げに伴う駆け込み需要によるフードカート販売増等により前回予想を上回る見込みです。

営業費用につきましては、至近の需要に基づく設備投資計画の見直し、整備維持費・管理可能経費の抑制等、費用の圧縮に取り組んでおります。

その結果、営業利益、経常利益、当期純利益についても前回予想を上回る見込みとなりました。

これにより、平成25年5月10日に開示いたしました平成26年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「平成26年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,362,752	1,678,782
受取手形及び売掛金	1,614,396	1,163,113
有価証券	891,354	1,291,845
商品及び製品	80,191	194,207
仕掛品	85,429	266,471
原材料及び貯蔵品	343,884	514,665
その他	289,179	283,235
貸倒引当金	△1,022	—
流動資産合計	5,666,165	5,392,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,364,575	9,471,066
減価償却累計額	△7,303,430	△7,486,769
建物及び構築物(純額)	2,061,144	1,984,297
機械装置及び運搬具	7,941,440	8,073,070
減価償却累計額	△6,265,792	△6,260,496
機械装置及び運搬具(純額)	1,675,648	1,812,573
土地	110,608	110,608
リース資産	636,383	682,336
減価償却累計額	△374,369	△457,625
リース資産(純額)	262,013	224,710
建設仮勘定	640,608	724,726
その他	481,794	487,252
減価償却累計額	△437,898	△449,238
その他(純額)	43,895	38,014
有形固定資産合計	4,793,919	4,894,930
無形固定資産		
ソフトウェア	21,010	12,651
その他	15,575	31,265
無形固定資産合計	36,585	43,916
投資その他の資産		
投資有価証券	123,940	131,040
敷金及び保証金	221,051	209,813
その他	781,967	768,453
投資その他の資産合計	1,126,959	1,109,307
固定資産合計	5,957,464	6,048,155
資産合計	11,623,629	11,440,477

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	539,548	462,229
1年内返済予定の長期借入金	497,450	379,750
リース債務	118,921	120,690
未払法人税等	200,251	114,195
未払金	286,914	463,333
資産除去債務	—	721
その他	539,815	469,254
流動負債合計	2,182,902	2,010,175
固定負債		
長期借入金	1,737,450	1,489,000
リース債務	170,960	126,630
退職給付引当金	1,507,561	1,537,516
資産除去債務	32,443	35,914
その他	210	210
固定負債合計	3,448,625	3,189,271
負債合計	5,631,527	5,199,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,840,920	4,082,286
自己株式	△630	△630
株主資本合計	5,993,739	6,235,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,638	5,923
その他の包括利益累計額合計	△1,638	5,923
純資産合計	5,992,101	6,241,029
負債純資産合計	11,623,629	11,440,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,511,195	7,778,137
売上原価	6,490,359	6,567,314
売上総利益	1,020,836	1,210,822
販売費及び一般管理費	546,554	553,092
営業利益	474,281	657,729
営業外収益		
受取利息	2,130	1,487
受取配当金	769	2,669
保険配当金	901	961
保険事務手数料	1,021	903
投資有価証券売却益	—	24,772
その他	649	1,289
営業外収益合計	5,473	32,083
営業外費用		
支払利息	37,529	27,085
その他	4,692	1,241
営業外費用合計	42,221	28,327
経常利益	437,533	661,486
特別利益		
その他	199	—
特別利益合計	199	—
特別損失		
固定資産除却損	17,650	30,508
事業撤退損	※1 128,018	—
減損損失	—	※2 6,883
その他	—	1,999
特別損失合計	145,669	39,391
税金等調整前四半期純利益	292,063	622,094
法人税、住民税及び事業税	130,732	225,844
法人税等調整額	△4,030	29,350
法人税等合計	126,701	255,194
少数株主損益調整前四半期純利益	165,362	366,899
四半期純利益	165,362	366,899

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	165,362	366,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,849	7,561
その他の包括利益合計	△7,849	7,561
四半期包括利益	157,512	374,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,512	374,461

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

※1. 事業撤退損

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

事業撤退損128,018千円の内訳は、鹿児島空港、熊本空港、長崎空港の事業場の閉鎖に伴う有形固定資産の減損損失96,426千円、その他閉鎖に伴う費用31,592千円であります。

(減損損失)

第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)において、当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

(単位:千円)

用途	種類	場所
電力供給設備	構築物・機械装置	鹿児島空港内 熊本空港内 長崎空港内

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

第2四半期連結会計期間において3空港内の事業場の閉鎖が確定したため、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失96,426千円は特別損失「事業撤退損」に含めて表示しております。

減損損失の内訳は、構築物93,409千円、機械装置3,017千円であります。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

※2. 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)において、当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

(単位:千円)

用途	種類	場所
電力供給設備	構築物・機械装置	成田国際空港内

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

当第2四半期連結会計期間において成田国際空港における空港整備計画による工事が開始され、今後の使用は見込まれないため、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失6,883千円は特別損失に表示しております。減損損失の内訳は、構築物6,826千円、機械装置56千円であります。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合 計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,804,738	2,859,015	847,441	7,511,195
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,279	3,279
計	3,804,738	2,859,015	850,721	7,514,475
セグメント利益	438,699	315,813	178,275	932,789

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	932,789
全社費用（注）	△458,507
四半期連結損益計算書の営業利益	474,281

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）において当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

減損損失	報告セグメント			合 計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
	96,426	—	—	96,426

4. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,840,135	2,926,501	1,011,500	7,778,137
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,234	4,234
計	3,840,135	2,926,501	1,015,734	7,782,371
セグメント利益	581,239	328,489	215,130	1,124,859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,124,859
全社費用(注)	△467,129
四半期連結損益計算書の営業利益	657,729

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)において当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位:千円)

減損損失	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
	6,883	—	—	6,883

4. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。